

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

1. 「利用カード」を作しましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作れます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
2. 本は、5冊まで3週間借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。
 - ※本は大切に扱い、友達に貸したり失くしたりしないようにしましょう。

★本を返すとき★

1. 返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合は、延長ができます。
2. 図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。
 - ※本が汚れていたり、大事なものはさんだりしていないか確認してください。
 - ※返却期日は守りましょう！！

★本を探すとき★

1. 図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
2. インターネットや携帯電話から探すこともできます。
※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

1. 予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出しましょう。
2. パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。
※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。



みきちゃん

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454

★開館時間★(火～金)午前9時40分～午後7時
(土日・祝日)午前9時40分～午後6時
(子ども読書室は午後5時まで)

★休館日★ 月曜、館内整理日(月末)、年末年始

<http://www.ehimetosyokan.jp/contents/index.htm>
(携帯サイト <http://www.ehimetosyokan.jp/contents/i>)

愛媛県立図書館 YAコーナー

YAつうしん

Vol. 32 2014. 2

★新刊案内★

- ☆「スクールミッション世界はいつでも君のもの！」高橋大樹 大日本図書
- ☆「イエロー・バード」ケヴィン・パワース 早川書房
- ☆「いちばんわかりやすい彗星のひみつ」縣 秀彦 幻冬舎
- ☆「都会のアリス」石井睦美 岩崎書店
- ☆「弁当男子」池田将友 PHP
- ☆「15歳から、社長になれる。」家入一真 イースト・プレス
- ☆「ココちゃんとダンボールちゃん」清川あさみ 「トルモア
- ☆「みんなのおやつ ちいさなレシピを33」なかしまほ 糸井重里事務所
- ☆「レントゲン」風野潮 講談社
- ☆「14歳、ぼくらの疾走」ヴォルフガング・ヘルンドルフ 小峰書店
- ☆「みずうみの歌」ほしおさなえ 講談社
- ☆「浅田真央 そして、その瞬間へ」吉田順 学研
- ☆「今すぐできる！中学生の勉強法」親野智可等 PHP
- ☆「ライト/ベル・スタティース」一柳廣孝・久米依子 青弓社
- ☆「まほろ駅前狂想曲」三浦しをん 文芸春秋
- ☆「秘密の花占い 泣いちゃいそうだよ《高校生編》」小林深雪 講談社
- ☆「卯月の雪のレター・レター」相沢沙呼 東京創元社
- ☆「新釈にっぽん昔話」乃南アサ 文芸春秋
- ☆「貴族と奴隷」山田悠介 文芸社
- ☆「だらだら動物図鑑」エクスタレッジ
- ☆「忘れ村のイエンと深海の犬」冨崎伸 新潮社
- ☆「とっぴんぱらりの風太郎」万城目学 文芸春秋
- ☆「現代語訳竹取物語」川端康成 河出文庫
- ☆「お面屋たまよし不穩/祭」石川宏千花 講談社



←携帯サイトはこちら。

本の検索や予約ができます。

登録にはパスワードの申請が必要です。





走るって、なに？



走ることで生まれる様々な物語。
寒い日が続けけれど部屋の中に閉じこもってばかりでなく
本と一緒に外に飛び出してみよう！

『官兵衛、駆ける。』

吉橋通夫/著 講談社

2014年NHK大河ドラマの主人公黒田官兵衛。「戦わずして勝つ」—生涯負けなしと言われ、信長、家康、秀吉に重用された天才軍師の少年時代から青年時代を中心に描く物語。強く、優しく、賢く。戦乱の、厳しい時代を駆け抜けた一人の若者の思いが鮮やかに描かれます。



『走る意味 命を救うランニング』

金哲彦/著 講談社現代新書

早稲田大学で駅伝選手として活躍後、実業団選手、コーチ、監督、解説者と、ランナーとして成功した金氏の人生には、さまざまなドラマがあった…。進路選択、家庭の問題、人間関係、仕事、病気の克服など、走ることで乗り越え、苦しみながらも、強く、情熱を持って生きる筆者の言葉です。

「走るということは、そんな人間の根源的な生きるという欲求を満たし、深い喜びを得られる行為なのです。(中略)まだ走ることを始めていない人、走ることをためらっている人、走っていて壁にぶつかっている人にこのことを伝え、一人でも多くの人に走るこの意味を知って欲しいと思います。」



『風が強く吹いている』

三浦しをん/著 新潮社

—「走るの好きか？」

…あんたはどうなんだ。そんな質問に答えられるのか—

清瀬灰二、蔵原走。個性豊かな住人たち。下宿「竹清荘」は「寛政大学陸上競技部錬成所」だった！清瀬の画策により、名門校でもなく素人なのに無理やり箱根駅伝を目指すことになったメンバーたちの疾走が始まる。

「走っても走らなくても、苦しみはある。同じくらいの喜びも。」
「…俺は知りたいんだ。走るってどういうことなのか。」

作者の徹底取材に基づく青春小説。読んだらきっと、走りたくなります。



『走れメロス』 太宰治/文 竹内通雅/絵 齋藤孝/編 ほるぷ出版

走る、と言えばこの作品。メロスが力強く走る場面を中心に抜粋した絵本です。肉体と精神の強さ、言葉の強さを声に出してもう一度味わってみませんか。

「メロスはぶるんと両腕を大きく振って、雨中、矢のごとく走り出た。私は、今宵、殺される。殺されるために走るのだ。身代わりの友を救うために走るのだ。王の奸佞(かんねい)邪知(じゃち)を打ち破るために走るのだ。走らなければならぬ。」



ご質問やご意見は、メールでも受け付けます。

アドレスは、ya@ehimetosyokan.jp

(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)

★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。